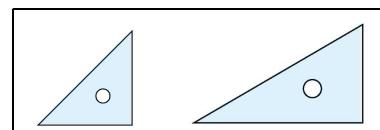
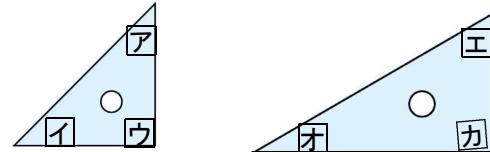


1 B問題(活用)に対応するための練習問題

1 右のような、三角定規のセットがあります。この三角定規を並べて、図形をつくります。このとき、次の問い合わせに答えましょう。

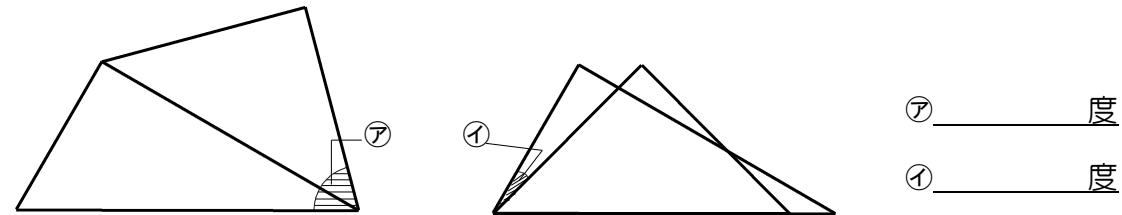


(1) 三角定規の角度ア～カを答えましょう。



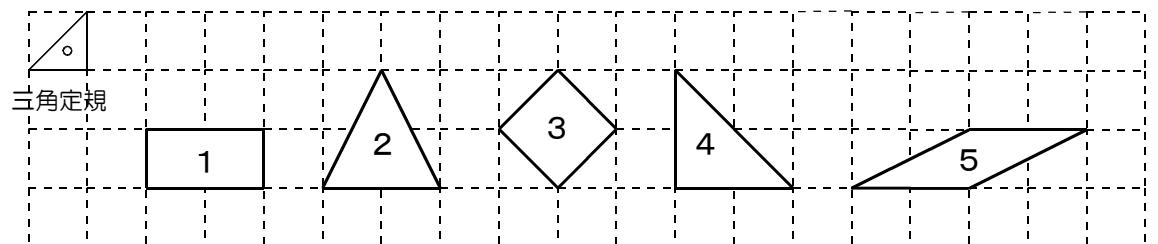
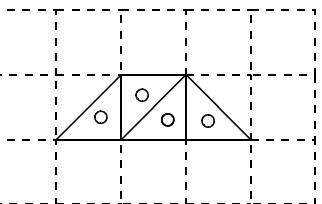
答え ア_____度 イ_____度
ウ_____度 エ_____度
オ_____度 カ_____度

(2) 次の図は、三角定規のセットをひと組並べてつくったものです。このとき、色をつけた、⑦、①の角度を答えましょう。



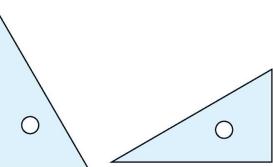
⑦_____度
①_____度

2 二等辺三角形の定規を4枚使うと、右のように台形をつくることができます。
この二等辺三角形の定規を4枚使うと、ほかにどのような形をつくることができますか。
次の1～5から3つ選び、番号で答えましょう。



答え_____と_____と_____

3 右の図のような合同な直角三角形の定規を、2枚組み合わせてできる三角形や四角形には、どのようなものがありますか。
次の1～7からすべて選び、番号で答えましょう。



- | | | |
|--------|----------|---------|
| 1 正三角形 | 2 二等辺三角形 | 3 直角三角形 |
| 4 正方形 | 5 平行四辺形 | 6 長方形 |
| 7 ひし形 | | |

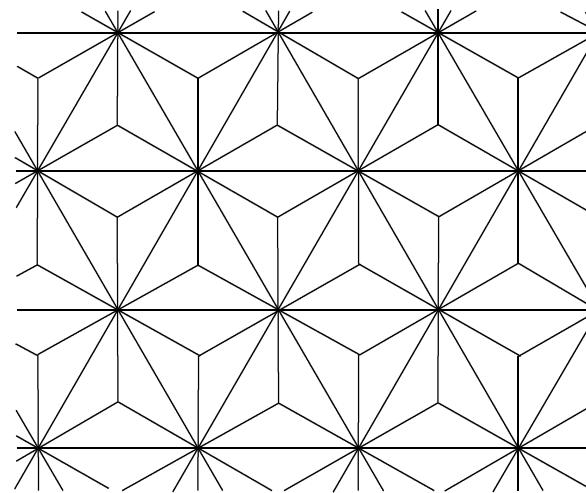
答え_____

()年()組()番 名前()

4 日本の伝統的な模様に、右の図のような麻の葉模様があります。麻の葉模様は、ある合同な図形が、すきまなくしきつめられています。このとき、次の問い合わせに答えましょう。

(1) すきまなくしきつめられている合同な図形のうち、一番小さな図形の「名前」を答えましょう。

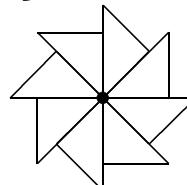
答え_____



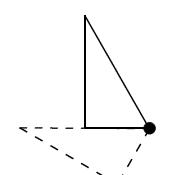
(2) 麻の葉模様の中には、合同な正六角形がしきつめられていると考えることもできます。その正六角形の1つを色でぬりましょう。



ある一点に、直角二等辺三角形の三角定規の45°の角の部分を8枚集めると、右の図のように、かざぐるまの形ができたよ。



(問い合わせ) ひでとさんと同じつくりかたで、直角三角形の三角定規の60°の部分を一点に集めてかざぐるまの形をつくります。
直角三角形の三角定規は、何枚必要か、答えましょう。



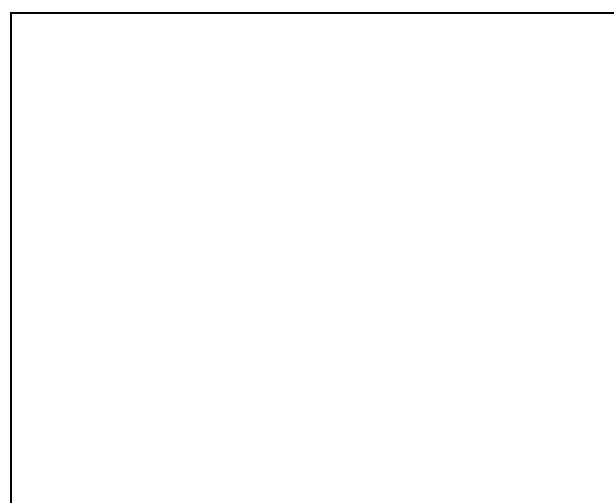
答え_____枚



6 さおりさんは、サッカーボールの模様を見て、黒い部分が正五角形、白い部分が正六角形で、2種類の図形を組み合わせ、ふくらませることできていますことに気付きました。このとき、次の問い合わせに答えましょう。

(1) 1つの正五角形のまわりに、正六角形はいくつあるか答えましょう。

答え_____つ

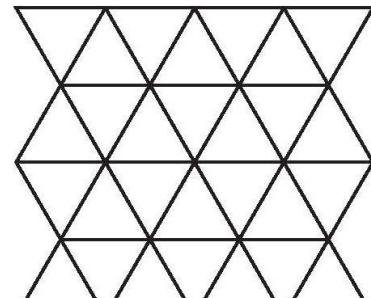


(2) コンパス、分度器、定規を使って、右の□のわくの中に、半径が2.5cmの円をかき、その円を使って、正五角形をかきましょう。

身のまわりには、図形の辺どうしがぴったりあっていて、すきまも重なりもなくしきつめられている模様があります。はるとさんたちは、これらの模様に興味をもちました。

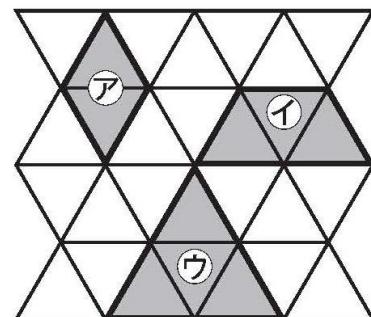
はるとさんたちは、まず、うろこ模様を調べることにしました。

はるとさんたちが調べているうろこ模様は、合同な正三角形でしきつめられていきました。



うろこ模様

はるとさんたちは、うろこ模様の中に、いくつかの正三角形でできている図形を見つけました。



はると

正三角形 2 つでできている、ひし形②を見つけました。



ともや

正三角形 3 つでできている、台形①を見つけました。



かすみ

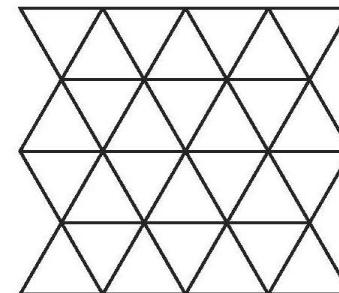
正三角形 4 つでできている、正三角形④を見つけました。

ほかにも、正三角形 4 つでできている図形を見つけることはできないのかな。

- (1) 正三角形 4 つでできている図形を、うろこ模様の中から見つけます。
どのような図形を見つけることができますか。
見つけることができる図形を、下の 1 から 4 までの中から 1 つ選んで、
その番号を書きましょう。

- 1 長方形
- 2 直角三角形
- 3 平行四辺形
- 4 正六角形

※ 必要ならば、下のうろこ模様を使って考えててもかまいません。



うろこ模様



練習問題の
2
3
4
と関連があるよ！

答え _____

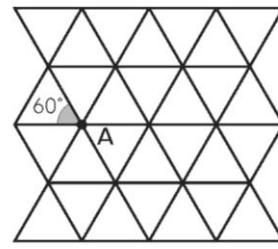
1 B 問題(No.2)

()年()組()番 名前()

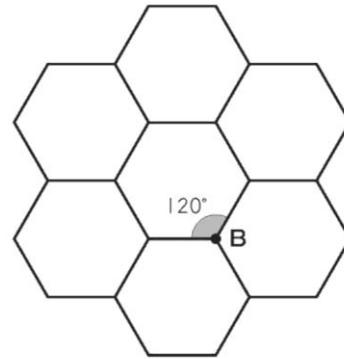
はるとさんたちは、次に、**きつこう模様**^{もよう}も調べることにしました。

はるとさんたちが調べている**きつこう模様**は、合同な正六角形でしきつめられていきました。

はるとさんたちは、うろこ模様と**きつこう模様**について、話し合っています。



うろこ模様



きつこう模様



はると

図形の辺どうしがぴったりあっていて、すきまも重なりもなくしきつめられているので、点**A**や点**B**のまわりに集まった角の大きさの和は、それぞれ 360° になっているはずです。



ともや

点**A**のまわりには、正三角形が6つしきつめられています。正三角形の1つの角の大きさは 60° なので、点**A**のまわりに集まった角の大きさの和は、 $60 \times 6 = 360$ で、 360° です。

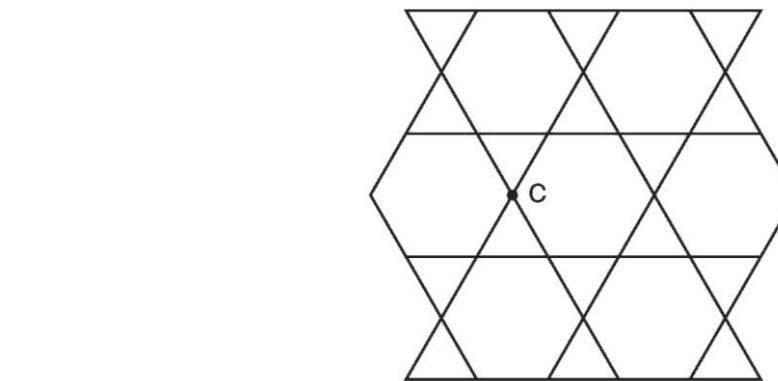


かすみ

点**B**のまわりには、正六角形が3つしきつめられています。正六角形の1つの角の大きさは 120° なので、点**B**のまわりに集まった角の大きさの和は、 $120 \times 3 = 360$ で、 360° です。

はるとさんたちは、さらに、**かごめ模様**も調べることにしました。

はるとさんたちが調べている**かごめ模様**は、合同な正三角形と合同な正六角形でしきつめられていきました。



かごめ模様



点**C**のまわりに集まった角の大きさの和は、 360° になっています。

(2) 点**C**のまわりに集まった角の大きさの和が、 360° になっていることを、着目した図形の「名前」と「角の大きさ」がわかるようにして、言葉や式を使って書きましょう。

答え

練習問題の
1
5
6
と関連があるよ！



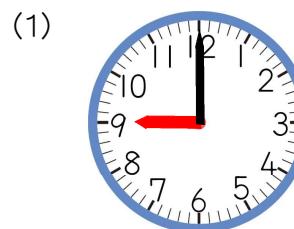
※平均正答率

	(1)	(2)
全国	71.7	48.2
私		

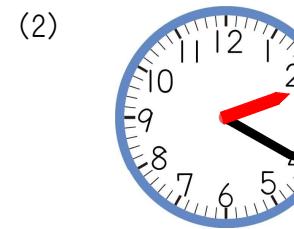
正解した問題には、私の欄に○印をしましょう。

2 B問題(活用)に対応するための練習問題

1 次の時計の時刻は、午後何時何分か答えましょう。



答え 午後 時 分



答え 午後 時 分



答え 午後 時 分

2 次の時刻を答えましょう。午前か午後かもかきましょう。

(1) 今、午前7時40分です。

30分後は、何時何分ですか。

答え 午 () 時 分

(2) 今、午前9時40分です。

50分前は、何時何分ですか。

答え 午 () 時 分

(3) 今、午後1時10分です。

100分前は、何時何分ですか。

答え 午 () 時 分

3 次の時間は、午後何時何分のことですか。答えましょう。

(1) 14時30分 ⇒ 午後 () 時30分

(2) 22時10分 ⇒ 午後 () 時10分

4 次の問題に答えましょう。

(1) つよしさんの家から駅までは、25分かかります。

つよしさんは、午前7時40分に家を出発しました。

駅に着くのは、午前何時何分ですか。答えましょう。



答え 午前 時 分

(2) 今日、えつこさんは、家庭学習での4つの教科をあわせて75分間しようと考えています。

今日の理科の学習時間は、何分になりますか。答えましょう。

答え 分間

学習計画表	
国語	… 20分
算数	… 15分
社会	… 25分
理科	… <input type="text"/> 分

(3) なおみさんは、家族で福岡県に住むいとこの家に遊びに行きました。午前7時15分に出発して、午後1時45分にいとこの家に着きました。いとこの家に着くまでに何時間何分かかったか、答えましょう。

答え 時 分

()年()組()番 名前()

5 次の図は、れいこさんの小学校の「給食時間の進め方」がかかるものです。給食は、12時20分から始まり、給食時間は40分間です。このとき、下の(1)~(3)の問い合わせに答えましょう。



12時20分

(1) 「片づけと歯みがき」が始まる時刻は、何時何分か答えましょう。

答え 時 分

(2) 「配ぜん」の時間は15分間です。
「食事」の時間は、何分間になるか答えましょう。

答え 分間

(3) 「配ぜん」では、『運ぶ時間』、『配る時間』、『着がえる時間』がひとつようです。給食係のれいこさんは、「配ぜん」の時間15分間で、『運ぶ時間』を3分間、『着がえる時間』を2分間にして、配ぜんができるかを考えました。れいこさんの学級の人数は、30人です。このとき、次の①、②の問い合わせに答えましょう。

①『配る時間』で使える時間は、何分間か答えましょう。

答え 分間

②『配る時間』で30人に配ります。1人に使える時間は、何秒間ずつあるか答えましょう。

答え 秒間ずつ

6 『花だんづくり』で、チューリップを植えることにしました。

花だんの全体の土をたがやして、次に球根を植えます。球根を1つ植えるのにかかる時間は20秒間です。



花だんづくりにかかる時間は、次の式で求められます。

$$(土をたがやす時間) + (1つの球根を植えるのにかかる時間) \times (球根の数)$$

このとき、次の(1)、(2)の問い合わせに答えましょう。

(1) 土を50秒たがやして、球根を6個植えたときにかかる時間は何秒か、答えましょう。式もかきましょう。

(式) _____ 答え _____ 秒

(2) 花だんづくりの時間を15分間にします。持っている球根は、30個です。土をたがやす時間が何分使えるか、次のように説明しました。

()にあてはまる式や数をかきいれましょう。

持っている球根は30個だから、球根を植える時間は、

$$() \times () = () \text{ (秒)} \text{ です。これは、() 分のことです。}$$

花だんづくりの時間は15分間だから、土をたがやす時間を求める式は、

$$() - () = () \text{ です。だから、土をたがやす時間は () 分間です。}$$

たくみさんたちは、「1年生と仲よくなる会」で玉入れゲームをすることにし、その計画を立てています。

まず、玉入れゲームの説明をまとめました。

玉入れゲームの説明

- 同じ人数の2チームに分かれる。
- 合図とともに、それぞれのかごに玉を投げ入れる。
- 落ちている玉は何回拾って投げてもよい。
- 玉入れゲームは2回行い、入った玉の個数を1回ごとに数え、その合計の数が多いほうが勝ち。



次に、たくみさんたちは、下のような計画を立てました。

【たくみさんたちの計画】

全体で使える時間				
ルールの説明	玉入れ ゲーム 1回目	中休み	玉入れ ゲーム 2回目	結果発表と片付け
<ul style="list-style-type: none"> 全体で使える時間は20分。 玉入れゲームを行う回数は2回。 1回の玉入れゲームの時間は3分。 中休みの時間は2分。 結果発表と片付けの時間は、あわせて7分。 				

(1) 【たくみさんたちの計画】の「ルールの説明」に使える時間は、何分ですか。答えを書きましょう。

練習問題の
4
5
と関連があるよ！

答え_____分

()年()組()番 名前()

1回の玉入れゲームには、玉を投げる時間と入った玉を数える時間が必要です。

1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするために、たくみさんたちは、玉を投げる時間をどのくらいにすればよいのかを考えました。



1回の玉入れゲームの時間を、次の式で求めます。

$$\text{玉を投げる時間} + \text{入った玉を数える時間} = 1\text{回の玉入れゲームの時間}$$

入った玉は1個あたり2秒で数えることにします。

「玉を投げる時間」を長くすると、入る玉の個数が増えるので、「入った玉を数える時間」も長くなります。

そこで、たくみさんたちは、ためしに、玉を投げる時間を40秒にして玉入れゲームを行い、下のメモにまとめました。

【たくみさんたちのメモ】

玉を投げる時間が40秒のとき

- 入った玉の個数は51個。
- 入った玉を数える時間は、1個あたり2秒で数えることにしたので、 $2 \times 51 = 102$ で、102秒。
- 1回の玉入れゲームの時間は、 $40 + 102 = 142$ で、142秒。

玉を投げる時間	入った玉の個数	入った玉を数える時間	1回の玉入れゲームの時間
40秒	51個	102秒	142秒



玉を投げる時間が40秒のとき、1回の玉入れゲームの時間は142秒になります。玉を投げる時間を50秒、60秒と長くしたところ、入った玉の個数は、それぞれ64個と80個でした。

玉を投げる時間を40秒、50秒、60秒にしてためしたことを、表にまとめます。

(2) 1回の玉入れゲームの時間を3分に最も近い時間にするためには、

玉を投げる時間を、40秒、50秒、60秒のどれにすればよいですか。

入った玉を1個あたり2秒で数えることとし、下の表にある4つの□

の中にあてはまる数を書きましょう。

そして、〔 〕の中には、40、50、60のいずれかの数を書きましょう。

答え

表

玉を投げる時間	入った玉の個数	入った玉を数える時間	1回の玉入れゲームの時間
40秒	51個	102秒	142秒
50秒	64個	秒	秒
60秒	80個	秒	秒

玉を投げる時間を〔 〕秒にすればよい。



練習問題の
5
6
と関連があるよ！

※平均正答率

	(1)	(2)
全国	70.5	47.9
私		

正解した問題には、私の欄に○印をしましょう。

3 B問題(活用)に対応するための練習問題

1 よしてるさんは、町の職場見学で聞いたことを、表やグラフで表しています。

次の(1)、(2)の問い合わせに答えましょう。

(1) 右のグラフは、ある洋服店で先週月曜日から金曜日までの5日間に売れたTシャツのまい数を表しています。金曜日は15まい売りました。

このとき、次の①～④の問い合わせに答えましょう。

① 月曜日は、何まい卖れたか答えましょう。

答え _____まい

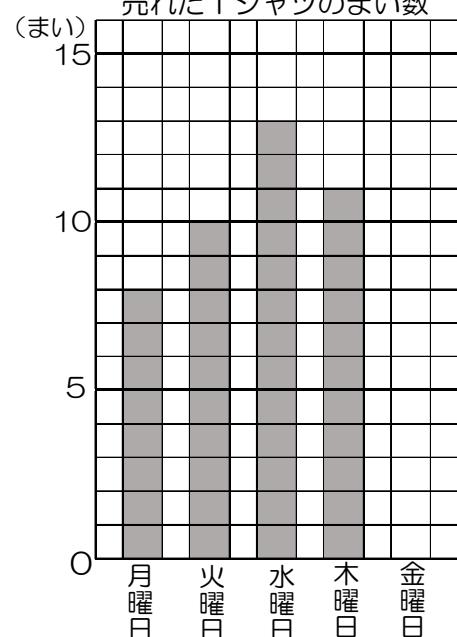
② 金曜日に卖れたまい数を右のグラフに書き入れましょう。

③ 火曜日と木曜日では、どちらが何まい多く売りましたか、答えましょう。

答え _____曜日が、_____まい多い。

④ 5日間で卖れたTシャツのまい数の合計を答えましょう。

答え _____まい



(2) 右のぼうグラフは、宮田パン店で、4月と5月に卖れた、「あんパン」と「クリームパン」の個数を調べたものです。



このとき、次の①～④の問い合わせに答えましょう。

① ぼうグラフの1めもりは、何個を表しているか、答えましょう。

答え _____個

② 約440個卖れたのは、何月のどちらのパンか答えましょう。

答え 月：()月 パン：()パン

③ あんパンとクリームパンはどちらもねだんが同じです。2種類のパンの売り上げの合計金額が多いのは、4月と5月のどちらか答えましょう。

答え _____月

④ よしてるさんは「4月は約120個で、5月は約160個です。」と言っています。どんなことに着目しているか、次のア～ウから1つ選び、記号で答えましょう。

ア あんパンとクリームパンの卖れた個数の差に着目している。

イ クリームパンが、560個まであとおよそ何個だったかに着目している。

ウ あんパンが卖れた個数に着目している。

答え _____

()年()組()番 名前()

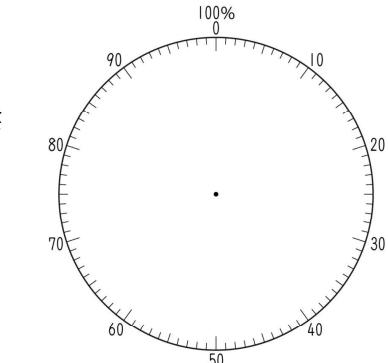
2 ちづるさんは、学校の地区別の児童数を調べ、右のような表にまとめました。次の(1)～(3)の問い合わせに答えましょう。

(1) それぞれの地区の児童数の割合が全体の何パーセントになるかを求め、下の表に書きましょう。

地区	北地区	南地区	東地区	西地区	その他	合計
割合(%)						100

地区	北地区	南地区	東地区	西地区	その他	合計
人数(人)	160	240	200	120	80	800

(2) (1)で求めた割合を使って、円グラフをかきましょう。



(3) 南地区的児童数は、東地区的児童数の何倍か、答えましょう。

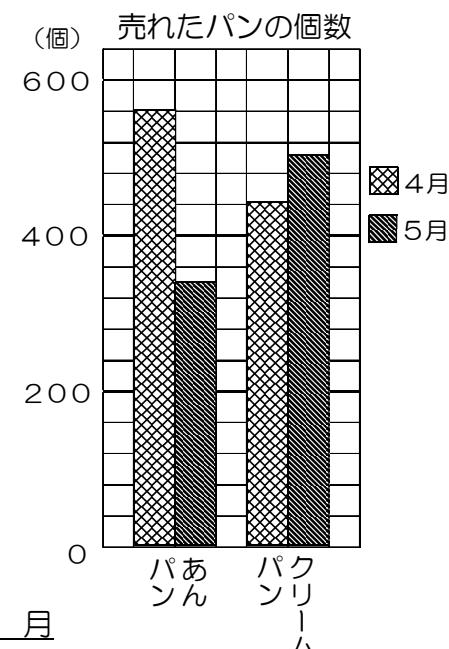
答え _____倍

3 右の表は、3年生と4年生で、6月に図書館を利用した人数と借りた本の冊数を調べたものです。

利用した人数に対して、借りた本の数が多いのは、3年生と4年生のどちらかを調べる方法を話しています。正しい意見の人の名前に、○をつけましょう。

ももこさん… 3年生は $80 - 60 = 20$ 、4年生は $100 - 80 = 20$ だから、どちらも同じです。

だいちさん… 3年生は $60 \div 80 = 0.75$ 、4年生は $80 \div 100 = 0.8$ だから、4年生が多いです。



4 右のグラフは、宮崎県の花き(花や観葉植物)の産出額(生産物の合計金額)と作付面積(作物が植えられている面積)を表したもの

です。次の(1)～(3)の問い合わせに答えましょう。



(1) 1985年の花きの産出額と作付面積を答えましょう。単位も答えましょう。

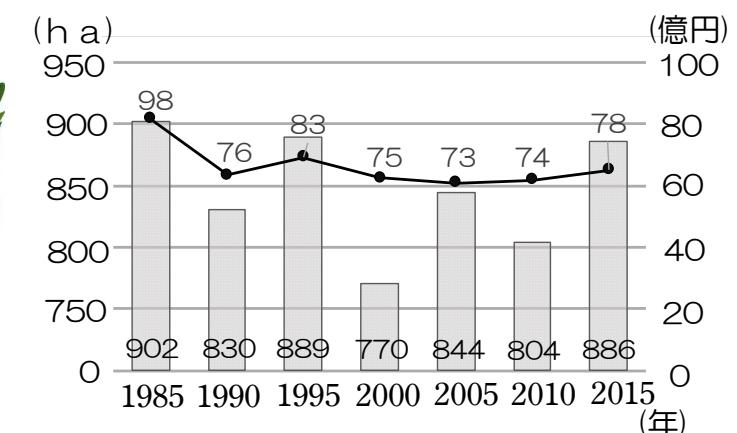
答え 産出額 _____ 作付面積 _____

(2) 産出額が、75億円以下だった年をすべて答えましょう。

答え _____

(3) 作付面積が5年前より減っているのに、産出額が増えている年があります。それは何年ですか、答えましょう。

答え _____ 年



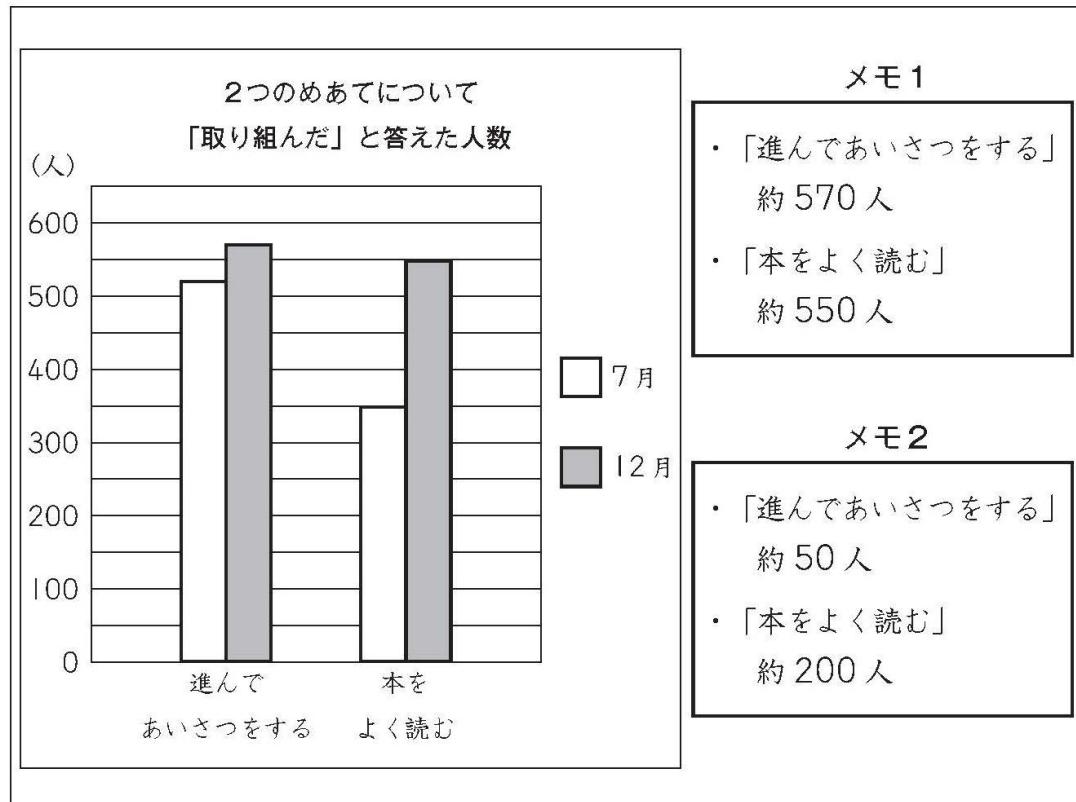
3

B 問題(No.1)

しおりさんたちの学校は、「進んでいいさつをする」と「本をよく読む」の2つのめあてに取り組んでいます。

しおりさんたちは、7月と12月に、2つのめあてについて全校児童625人に対してアンケート調査をし、その結果を下のグラフに表しました。

しおりさんは、グラフからわかることを2つのメモに書きました。



()年()組()番 名前()

えりかさんとまさるさんは、しおりさんが書いたメモについて話し合っています。



えりか

メモ1を見ると「進んでいいさつをする」のほうが人数が多いです。でも、メモ2を見ると「本をよく読む」のほうが人数が多いですね。



まさる

メモ1では、「進んでいいさつをする」のほうが人数が多く、メモ2では、「本をよく読む」のほうが人数が多いのは、なぜですか。



しおり

メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてちがうことに着目して書いているからです。

しおりさんが言うように、メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてちがうことに着目して書かれています。

- (1) メモ1とメモ2は、それぞれ、グラフについてどのようなことに着目して書かれていますか。それぞれ着目していることを、言葉や数を使って書きましょう。

答え



練習問題の
1
3
と関連があるよ！

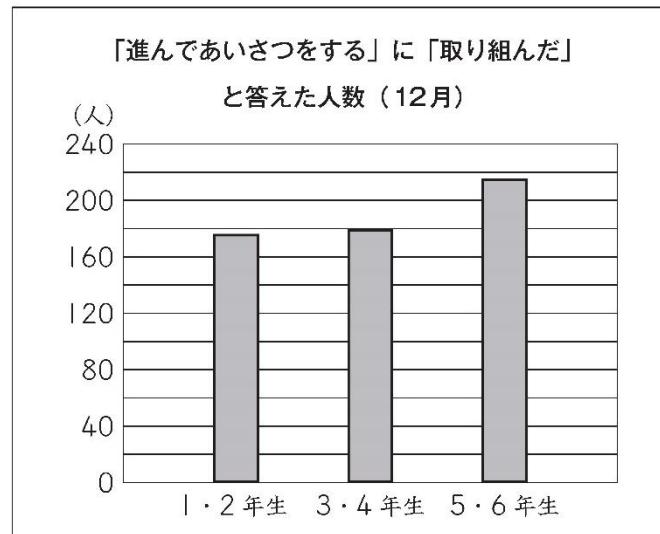
③ B 問題(No.2)

()年()組()番 名前()

しおりさんたちは、「進んでいきたいとする」について、12月のアンケート調査の結果を、1・2年生、3・4年生、5・6年生に分けて調べました。

そして、「進んでいきたいとする」に「取り組んだ」と答えた人数を、グラフ1に表しました。

グラフ1



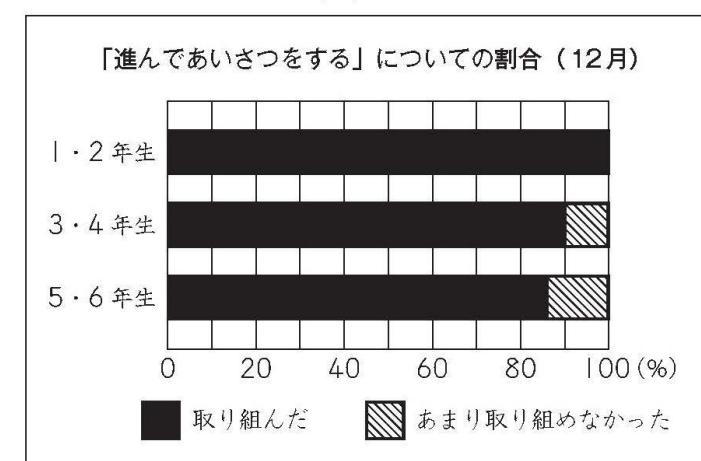
「取り組んだ」と答えた人数が、いちばん多いのは5・6年生ですね。



でも、1・2年生、3・4年生、5・6年生の学年の人数が、それぞれ175人、200人、250人と、ちがうので、「取り組んだ」と答えた人数の割合も調べてみませんか。

しおりさんたちは、1・2年生、3・4年生、5・6年生それぞれの、学年の人数をもとにしたときの「進んでいきたいとする」に「取り組んだ」と答えた人数の割合を求め、グラフ2に表しました。

グラフ2



(2) グラフ1とグラフ2を見て、次のようにまとめます。

- 「進んでいきたいとする」に「取り組んだ」と答えた人数が、いちばん少ないのは [ア] です。
- [ア] の、「進んでいきたいとする」に「取り組んだ」と答えた人数の割合は、いちばん [イ] です。

上のアにあてはまるものを、下の1から3までのなかから1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上のイにあてはまるものを、下の4と5から選んで、その番号を書きましょう。



練習問題の
1
2
4
と関連があるよ！

ア

- 1 1・2年生
2 3・4年生
3 5・6年生

イ

- 4 小さい
5 大きい

答え ア _____
イ _____

※平均正答率

	(1)	(2)
全国	20.7	23.9
私		

正解した問題には、私の欄に○印をしましょう。

4 B問題(活用)に対応するための練習問題

1 右の表は、かけ算九九の表です。
次の(1)~(3)の問い合わせに答えましょう。

(1) 表のⒶ～Ⓑにあてはまる数をかきましょう。

答え Ⓐ_____ Ⓑ_____

Ⓒ_____ Ⓒ_____

(2) ()にあてはまる数をかきいれましょう。

Ⓐ 6×9 は、 6×8 よりも () 大きい。

Ⓑ 8×5 は、 $8 \times$ () よりも 8 小さい。

2 次の [] にあてはまる数をかきいれましょう。

(1) $(7+4) \times 5 = (7 \times []) + (4 \times [])$

(2) $(25 \times 6) + (35 \times 6) = ([] + []) \times 6$

3 くるみさんとたくまさんは、計算のきまりを使って、くふうして計算する学習をしています。ふきだしの中の [] に、くふうで使った式をかきいれましょう。

(1) $25 \times 32 = 25 \times (4 \times 8)$
 $= (25 \times 4) \times 8$
 $= 100 \times 8$
 $= 800$

(2) $99 \times 9 = (100 - 1) \times 9$
 $= 900 - 9$
 $= 891$

 であることから考えました。

 であることから考えました。

4 かけられる数とかける数を右の図のように、かけ算九九にわけて計算しました。同じようにして(1)、(2)を計算しましょう。計算は、[] の中にかきいれましょう。

(1) 35×18

(2) 16×35

[]

[]

かける数

かけられる数	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4			10	12	Ⓐ	16	18
3									Ⓑ
4									
5	5	10			25	30		40	45
6	6	12			30	36		48	54
7					Ⓑ				
8	8	16		Ⓓ	40	48		64	72
9	9	18			45	54		72	81

()年()組()番 名前()

5 ゆうきさんとまりあさんは、「1から9までの整数の和」をくふうして計算する方法を話しています。このとき、次の(1)、(2)の問い合わせに答えましょう。

(1) 1から9までの整数の和を式に表すと、 $1+2+3+4+5+6+7+8+9$ です。ゆうきさんの説明と同じようにすると、まりあさんの説明はどうなりますか。()にあてはまる数やことばをかきいれましょう。

ゆうきさんの説明

 $1+2+3+4+5+6+7+8+9$ の最初の数と最後の数をペアにして考えます。 $1+9=10$ 、 $2+8=10$ …となり、10の組が4つできます。最後に、あまたの5をたすと、 $10 \times 4 + 5 = 45$ だから、答えは45です。

ゆうきさんの考え方

 $1+2+3+4+5+6+7+8+9$

まりあさんの説明

 $1+2+3+4+5+6+7+8+9$ と反対からかいた式を上下にならべてかいて上の数と下の数をたして考えます。 $1+9=10$ 、 $2+8=10$ …となり、10の組が()つできます。もとの式を()回たしているので、()でわります。 $10 \times () \div () = 45$ だから答えは45です。

まりあさんの考え方

 $1+2+3+4+5+6+7+8+9$
 $9+8+7+6+5+4+3+2+1$
 10

(2) ゆうきさんの説明と同じようにして、1から99までの整数の和を計算する説明をします。書き出しに続けて、[] 中に説明をかきましょう。

$1+2+3+\dots+97+98+99$ の最初の数と最後の数をペアにして考えます。

$1+99=100$ 、 $2+98=100$ …となり、_____

 最初の数と、最後の数のペアの数の和は、100だよ。だから、あまる数は、ペアで100をつくることができない数をさがせばいいね！

6 カレンダーを見て気づいたことを、れんさんが話しています。

 15を真ん中の数として、横にならんでいる「14、15、16」の和を求めると、 $14+15+16=45$ です。45は、真ん中の数15の3倍です。



15を真ん中の数として、たてにならんでいる「8、15、22」の和について、ひろきさんと同じように説明しましょう。

15を真ん中の数として、_____

10をつくるとかんたんになるね！



はるなさんは、学習した九九の表についてふり返りました。

まず、九九の表の、2の段と3の段に着目し、縦に並んでいる2つの数について話し合いました。

かける数									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
9	9	18	27	36	45	54	63	72	81



2の段の「4」と3の段の「6」、この2つの数「4, 6」の和は10です。「6, 9」の和は15です。「8, 12」の和は20です。どの和も5の段の数ですね。



「2, 3」の和は5です。「18, 27」の和は45です。やはり、5の段の数ですね。



「8, 12」の和と、「18, 27」の和が、5の段の数になるわけを考えて式に表しました。

【ひろとさんの考え方】

「8, 12」のとき	「18, 27」のとき
$8 + 12 = 2 \times 4 + 3 \times 4$	$18 + 27 = 2 \times 9 + 3 \times 9$
$= (2 + 3) \times 4$	$= (2 + 3) \times 9$
$= 5 \times 4$	$= 5 \times 9$
$= 20$	$= 45$



【ひろとさんの考え方】のように、(2+3)とまとめることで、かけられる数が5になります。だから、5の段の数ですね。



2の段と3の段の縦に並んでいるほかの2つの数のときも、(2+3)とまとめることで、かけられる数が5になります。だから、2の段と3の段の縦に並んでいる2つの数の和は、5の段の数ですね。



それでは、4の段と5の段の縦に並んでいる2つの数の和は、9の段の数なのかな。

4の段と5の段の縦に並んでいる2つの数の和は、9の段の数になります。9の段の数になるわけを考えて式に表します。

(1) 4の段と5の段の縦に並んでいる2つの数「32, 40」の和が、9の段の数になるわけを【ひろとさんの考え方】と同じように考えて式に表します。下のⒶ, ①にあてはまる式を書きましょう。

$$\begin{aligned} 32 + 40 &= \boxed{\text{Ⓐ}} \\ &= \boxed{\text{①}} \\ &= 9 \times 8 \\ &= 72 \end{aligned}$$



練習問題の
2
3
4
と関連があるよ！

答え

Ⓐ

①

4 B 問題(No.2)

次に、九九の表の、横に並んでいる数を選び、選んだ数について話し合いました。

		かける数								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
かけられる数	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
	3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
	4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
	5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
	6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
	7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
	8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
	9	9	18	27	36	45	54	63	72	81



横に並んでいる3つの数「4, 5, 6」の和を求めると、
 $4 + 5 + 6 = 15$ で、15です。15は、「4, 5, 6」の真ん中の数5の3倍になっています。



横に並んでいる3つの数「18, 21, 24」の和63は、真ん中の数21の3倍になっています。



それでは、横に並んでいる数が5つの場合は、どのようになるのかな。

練習問題の
1
5
6
と関連があるよ！



()年()組()番 名前()

ゆうかさんたちは、横に並んでいる5つの数「6, 12, 18, 24, 30」について調べました。



横に並んでいる5つの数「6, 12, 18, 24, 30」の和を求めるとき、90です。90は18の5倍になっています。

ゆうかさんの話を聞いてはるなさんは、次のように説明し直しました。

【はるなさんの説明】

横に並んでいる5つの数「6, 12, 18, 24, 30」の和90は、真ん中の数18の5倍になっています。

今度は、横に並んでいる数が7つの場合について調べ、【はるなさんの説明】と同じように説明します。

(2) 2の段の、横に並んでいる7つの数「4, 6, 8, 10, 12, 14, 16」について【はるなさんの説明】と同じように説明すると、どのようになりますか。言葉と数を使って書きましょう。

答え

※平均正答率

	(1)	(2)
全国	62.7	59.5
私		

正解した問題には、私の欄に○印をしましょう。

5 B問題(活用)に対応するための練習問題

1 次の にあてはまる数をかきましょう。

$$(1) 5\text{ km} = \boxed{}\text{ m}$$

$$(2) 2800\text{ m} = \boxed{}\text{ km } \boxed{}\text{ m}$$

$$(3) 1900\text{ m} = \boxed{}\text{ km}$$

$$(4) 180\text{ cm} = \boxed{}\text{ m}$$

$$(5) 30\text{ cm} = \boxed{}\text{ m}$$

$$(6) 1.5\text{ m} = \boxed{}\text{ cm}$$

$$(7) 4\text{ 分} = \boxed{}\text{ 秒}$$

$$(8) 150\text{ 秒} = \boxed{}\text{ 分 } \boxed{}\text{ 秒}$$

$$(9) 700\text{ g} = \boxed{}\text{ kg}$$

$$(10) 1.5\text{ kg} = \boxed{}\text{ g}$$

2 次の()にあてはまる数を答えましょう。求める式もかきましょう。

(1) 1日は24時間です。これは、()秒です。

$$\text{式 } \underline{\quad} \quad \text{答え } \underline{\quad} \text{ 秒}$$

(2) 1袋5枚入りのクッキーを4袋買います。クッキー1枚の値段は、120円です。このときの代金は、()円です。



$$\text{式 } \underline{\quad} \quad \text{答え } \underline{\quad} \text{ 円}$$

(3) 1本1.5Lのジュースが3本あります。学級の30人でわけると、1人()mLずつです。



$$\text{式 } \underline{\quad} \quad \text{答え } \underline{\quad} \text{ mL}$$

3 ゆなさんたちは、昼休みに校庭に集まり、赤、青、黄、緑の4つのチームにわかれ、ゲームをすることにしました。

校庭に来た順に、赤→青→黄→緑→赤→青→黄→緑→赤…とチームの色を決めることにしました。今、校庭には、54人集まっています。

このとき、次の(1)～(4)の問い合わせに答えましょう。

(1) 54人だと、それぞれのチームは、何人ずつになるか、答えましょう。

$$\text{赤 } \underline{\quad} \text{ 人 } \text{ 青 } \underline{\quad} \text{ 人 } \text{ 黄 } \underline{\quad} \text{ 人 } \text{ 緑 } \underline{\quad} \text{ 人}$$



(2) ゆなさんは、30番目にきました。何色のチームになるか、ゆなさんは次のように説明しました。()にあてはまる数や言葉をかきいれましょう。

チームの色は、4人でひと回りします。

来た順の数が4の倍数の人のチームの色は、()色といえます。だから、来た順の数が4の倍数+1の人は()色、4の倍数+2の人は()色、4の倍数+()の人は黄色です。

私は30番目です。 $30 \div 4 = ()$ あまり()だから、()色です。



()年()組()番 名前()

4 たての長さが100cm、横の長さが120cmの花だんがあります。かずとさんは、花だんの両はしを20cmずつあけ、10cmごとに花を植えることにしました。

このとき、次の(1)～(3)の問い合わせに答えましょう。

(1) 右の図のように考えると、横に9本植えることができることがわかります。たてに何本植えることができるか答えましょう。

答え 本

(2) かずとさんは、パンジーを60本持っています。この植え方にしたとき、パンジーの本数がたりないことに気づきました。そのわけをかずとさんが説明しています。()にあてはまる数や式、言葉をかきいれましょう。



花だんに植えることができる本数は、たてに()本、横に9本だから、(式)で、()本です。持っているパンジーは60本だから、()本たりません。

(3) 60本ちょうどを植えることができるよう、問題文の下線部分を変更します。ちょうど60本になる植え方を、次のア～ウから1つ選び、記号で答えましょう。

ア 花だんのたての両はしを25cmずつあけ、横の両はしを15cmずつあけます。たても横も10cmごとに花を植えます。

イ 花だんの両はしをたても横も10cmずつあけます。たても横も20cmごとに花を植えます。

ウ 花だんの両はしをたても横も15cmずつあけます。たては10cmごと、横は15cmごとに花を植えます。

答え

5 次の文は、3人姉妹であるさつきさん、ゆうみさん、ちなみさんの会話です。下の(1)、(2)の問い合わせに答えましょう。

さつき 今日5月24日は、私のたん生日だよ。たん生日が日曜日でうれしいな。

ちなみ そういえば、さつきちゃんと私の^①たん生日の曜日は、いつも同じだよね。

ゆうみ それは、たん生日までの日数と関係があるよ。私のたん生日は、12月2日で^②192日後だよ。何曜日になるか分かるかな？

(1) ちなみさんのたん生日を、次のア～エから1つ選び、記号で答えましょう。

ア 7月24日 イ 7月25日
ウ 7月26日 エ 7月27日

答え

5月は31日まで、6月は30日まであるよ。
7月の最初の日曜は、5日だよ。



(2) ゆうみさんのたん生日が何曜日になるか説明します。()にあてはまる数をかきいれましょう。

1週間には曜日が7つあるので、()の倍数の日ごとに同じ曜日になります。

192日後は、 $192 \div () = 27$ あまり()です。

つまり、日曜日の()日あとだから、()曜日です。

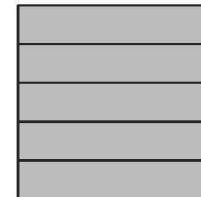
さくらさんたちは、学校の黒板に輪かぎりをつけようと思い、先生から折り紙をもらいました。折り紙の枚数は100枚でした。

一枚の折り紙からは、折り紙の輪を5個作ることができます。

折り紙の輪を30個つなげて、輪かぎり一本を作ります。

輪かぎり一本の作り方

- ① 折り紙を同じはばで5つに切れます。



- ② 切った折り紙のはしの部分にのりをつけて、もう一方のはしの部分と重ねてはりあわせると、折り紙の輪が1個できます。



- ③ 折り紙の輪を次のようにつなげていきます。



- ④ 折り紙の輪を30個つないだものを、輪かぎり一本とします。

さくらさんたちは、図1のように、横の長さが7mの黒板を、50cmずつに区切って、上の部分に輪かぎりを1本ずつたるませながらつけようと計画しています。

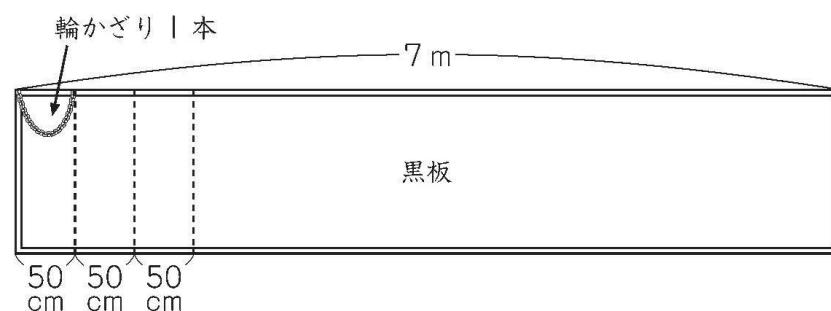


図1

- (1) 横の長さが7mの黒板の、はしからはしまで輪かぎりをつけるためには、折り紙の枚数が100枚あれば足ります。

そうたさんは、そのわけを、次のように説明しようとしています。

【そうたさんの説明】

黒板の横の長さは7mなので700cmです。

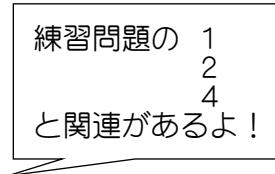
黒板のはしからはしまで輪かぎりをつけるために必要な輪かぎりの本数は、 $700 \div 50 = 14$ で、14本です。

【そうたさんの説明】に続くように、折り紙の枚数が100枚あれば足りるわけを、式や言葉を使って書きましょう。

わけ

黒板の横の長さは7mなので700cmです。

黒板のはしからはしまで輪かぎりをつけるために必要な輪かぎりの本数は、 $700 \div 50 = 14$ で、14本です。



練習問題の
1
2
4
と関連があるよ！

もらった折り紙は、赤、青、黄、緑の4色が、それぞれ同じ枚数ずつありました。

さくらさんは、折り紙の輪を、図2のように、赤、青、黄、緑の順にくり返してつなげ、輪かざり1本を作ってみました。

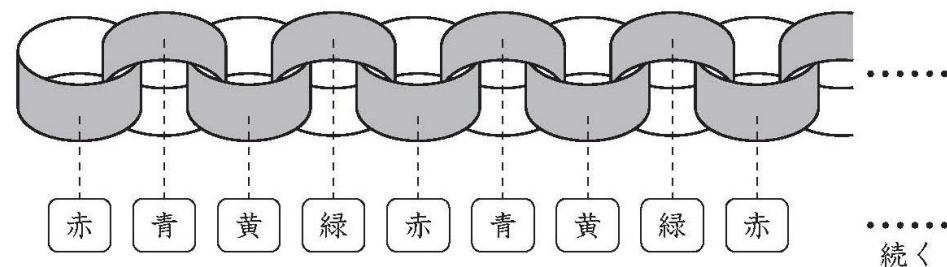


図2

(2) 上の図2のように、1個目の折り紙の輪の色を赤にして、輪かざり1本を作ったとき、30個目の折り紙の輪の色は何色ですか。

以下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 赤
- 2 青
- 3 黄
- 4 緑



練習問題の
3
5
と関連があるよ！

答え _____

※平均正答率

	(1)	(2)
全国	43.2	66.5
私		

正解した問題には、私の欄に○印をしましょう。